

2022年8月30日 実施

受験番号	
------	--

2023年度大学院法学研究科修士課程 入学試験問題

- (1) 問題冊子、下書用紙、すべての解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- (2) 出願時に申請した2科目（入学後に専攻を予定している科目1科目およびその他の任意科目1科目）を解答しなさい。
- (3) 解答用紙の所定の欄に、選択した科目を記入すること。
- (4) 解答用紙は各科目につき2枚を使用し、特に指定のある場合を除き、設問1問につき1枚ずつ使用すること（1枚の解答用紙に複数科目の解答を記入しないこと）。
- (5) 各解答用紙には、選択した問の番号を必ず記入すること。
- (6) 1科目1問の科目については、解答用紙を2枚使用しても差し支えないが、使用するしないに関わらず、2枚とも受験番号と科目名を記入すること。

【1】西洋法制史

以下の3問から2問を選択して、解答しなさい。(選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 「ローマ法の後期継受 (Nachrezeption des römischen Rechts)」について、複数の地域を比較しながら論じなさい。

問2 「法書 (Rechtsbuch)」が中世法史および近世法史において果たした役割の異同について、具体例に基づいて論じなさい。

問3 「法生活の学問化 (Verwissenschaftlichung des Rechtslebens)」について、イングランドを例に論じなさい。

【2】日本法制史

次の3問から2問を選択し、解答しなさい。(選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 明治14年の政変から伊藤博文のヨーロッパ憲法調査の終了までの政治史と政府内の憲法構想の推移について論じなさい。

問2 大日本帝国憲法(明治憲法)の緊急事態条項について論じなさい。

問3 近代日本の植民地統治と法に関して、以下の語句を説明し、論じなさい。

(1) 63法・63問題、(2) 共通法、(3) 内地延長主義政策、(4) 皇民化政策

【3】法哲学

以下の3問から2問を選択して、解答しなさい。(選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

- 問1 (正義論) 以下の(a)(b)からいずれかを選び、解答しなさい。
- (a) : 帰結主義について、その内容を説明し、それに対する批判と帰結主義からの応答についてできるだけ詳しく述べなさい。
 - (b) : 左派リバタリアニズムについて、その内容を説明し、それに対する批判と左派リバタリアニズムからの応答についてできるだけ詳しく述べなさい。

- 問2 (法概念論) 以下の法哲学者からひとりを選び、その法概念論について、その中心的内容を説明し、それに対する批判と応答についてできるだけ詳しく述べなさい。

Jeremy Bentham, Hans Kelsen, H.L.A. Hart, Ronald Dworkin, Joseph Raz,
Tom Campbell

- 問3 (メタ規範理論) 以下の(a)(b)からいずれかを選び、解答しなさい。
- (a) : 表出主義の純粹に非認知主義的なヴァージョンと複合的なヴァージョンについて、それぞれ内容を説明し、それに対する批判と応答についてできるだけ詳しく述べなさい。
 - (b) : 道徳的实在論のうち、あなたがもっともよく知るヴァージョンのものについて、その内容を説明し、それに対する批判と応答についてできるだけ詳しく述べなさい。

【4】憲法

次の2問とも解答しなさい。(問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

- 問1 一般職国家公務員に対する政治的行為の規制と裁判官に対する政治的行為の規制について、現行法の概要およびその合憲性を争った主要な事件と裁判所による判断を説明した上で、あなたの見解を述べなさい。

- 問2 憲法と政党の関係について、政党をめぐる法制度や最高裁判所の判決にも言及しつつ、論じなさい。

【5】行政法

次の2問とも解答しなさい。(問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 先行する行政行為が違法である場合に、後続する行政行為はそのことを理由として違法となるか。行政法学上、どのような議論があり、どのように考えられているのかを、関連する最高裁判決に言及しながら、わかりやすく説明しなさい。

問2 国家賠償訴訟における「供用関連瑕疵」について、関連する最高裁判決を挙げ、最高裁はどのような考え方を示しているか、述べなさい。

【6】国際法

次の2問とも解答しなさい。(問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 法の一般原則の性質と機能について論じなさい。

問2 平和のための結集決議について、さまざまな角度から論じなさい。

【7】国際関係論

次の3問から2問を選択し、解答しなさい。(選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 リアリズムの理論の系譜において、Kenneth Waltzが「第2イメージ」と呼ぶ分析の視点がどのような位置づけにあるか、説明しなさい。その上で、この視点の有用性について、他のリアリズムの理論と比較しつつ、具体例に言及しながら論じなさい。

問2 国際組織を分析する際に用い得る理論を2つ挙げ、その相対的な有用性について、具体例に言及しつつ論じなさい。

問3 対外政策分析における心理学的および認知領域のアプローチにはどのような功罪があるか、具体例に言及しつつ論じなさい。

【8】国際関係史

次の2問の中から1問を選択し解答しなさい。(選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 1950年代の日本には、三つの政治外交路線が存在したといわれる。それぞれの政治外交路線について、具体的事例を挙げながら説明し、その歴史的意義についても論じなさい。

問2 1965年の国交正常化から現在に至るまで、日韓関係は構造的に変容しているといわれる。その具体的な内容について、事例を挙げながら説明しなさい。また、日韓関係の構造的変容が、現在の日韓関係に及ぼしている影響についても論じなさい。

【9】民事訴訟法

次の2問とも解答しなさい。(問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 職権調査とは区別される職権審査について、具体的に論じなさい。

問2 訴訟判決における不利益変更禁止原則について、判例法理を整理し、批判的に検討しなさい。

【10】刑法

次の4問から2問を選択し、解答しなさい。(選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 刑法における法的因果関係の判断方法について論じなさい。

問2 量的過剰防衛の意義について論じなさい。

問3 強盗罪における暴行・脅迫の意義と強制わいせつ罪における暴行・脅迫の意義の異同について論じなさい。

問4 放火罪の客体が不燃性建造物である場合の留意点について論じなさい。

【11】 刑事訴訟法

次の3問から2問を選択し、解答しなさい。(選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 被疑者取調べにおける弁護人の立会いについて論じなさい。

問2 起訴状に記載される訴因の特定および明示について、例を挙げつつ論じなさい。

問3 刑事訴訟法328条の「供述の証明力を争うため」の意義と同条の適用の在り方について、例を挙げつつ論じなさい。

【12】 刑事学

次の3問から2問を選択し、解答しなさい。(選択した問題の番号を冒頭に明記し、解答用紙は1問につき1枚使用すること。)

問1 拘禁刑創設の意義について論じなさい。

問2 死刑選択の是非が問題となる事件を裁判員裁判の対象とすることの意義と課題について論じなさい。

問3 修復的司法の意義と日本への導入可能性について論じなさい。